

教科・科目	対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・ 体 育	1 年	3	現代高等保健体育 改訂版（大修館）	なし
科目の概要と 目標	心身の健全な育成を図り、運動に親しむ態度を育むとともに、ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得する。			
授業の進め方	自ら工夫して活動できるようにする。また、ゲーム・試合・記録会を通して、チーム及び各自の課題発見・解決に向けて練習方法を考え実践する。学習内容については、中学3年次の学習との連携を図りながら授業を進める。			
評価の観点と 方法	体育理論に関しては、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点から評価を行う。また、その他の領域については、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点から評価を行う。			

	学期	単元・学習項目	学習内容・到達度目標
年 業 内 容	1 学 期	【体づくり運動】 【選択体育1】 陸上競技（競走・跳躍・投擲） 上記種目より1つ選択する。 【体育理論】 1 人間にとって「動く」とは何か 2 スポーツの始まりと変遷	・各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 ・持久走、走り幅跳び、ハンドボール投げ、短距離走から種目を選択し、各自の設定した目標の達成とともに、心肺機能を高め、体力向上を目指す。 1 人間にとっての運動の意味を理解し、現代社会における運動の重要性を理解する。 2 スポーツの変遷について知り、興味のある種目の変遷について調べる。
	2 学 期	【体づくり運動】 【選択体育2】 球技（サッカー、バレーボール、ソフトボール） 上記より1種目選択 【選択体育3】 ※選択体育2とは違う種目を選択する。 【選択体育4】 柔道・剣道・ダンスから1種目選択 【体育理論】 3 文化としてのスポーツ 4 オリンピックと国際理解	・各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 ・球技では個人的技能や集団的技能を高め、作戦や状況に応じた動きを理解し、積極的にゲームに参加する。 ・武道では基本となる動作や技を身につけ、攻防の楽しさや喜びを味わうとともに、相手を尊重する態度や伝統的な礼法を学ぶ。 ・ダンスでは仲間と自由に踊る楽しさや喜びを味わい、表現や踊りを高めて交流や発表ができる。 3 スポーツを文化として捉えることの意義や関わり方を考える。 4 オリンピックの歴史を知り、国際社会で果たす役割について話し合う。
	3 学 期	【体づくり運動】 【球技（バスケットボール）】 【器械運動（マット運動）】 【体育理論】 5 スポーツと経済 6 ドーピングとスポーツ倫理	・各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 ・バスケットボールでは個人的技能や集団的技能を高め、作戦や状況に応じた動きを理解し、積極的にゲームに参加する。 ・マット運動では各自にあった技から連続技を創作し、発表する。 5 スポーツの経済波及効果を知り、社会への影響を考える。 6 社会的にドーピングが許されない理由を話し合う。